

自治体間ベンチマーキングシンポジウム

人口減少時代において、持続的な行政サービスをどのように提供していくべきか、人的投入量の高い基幹業務について、町田市、八王子市、藤沢市、江戸川区では、近隣自治体と業務量や業務プロセスの比較を通じた業務改善研究(自治体間ベンチマーキング)を2015年度から行っています。この取組は、全国に展開すべき地方行財政改革の先進事例として、平成29年第7回・第15回経済財政諮問会議で取り上げていただきました。

このシンポジウムでは、自治体間ベンチマーキングによって得られた知見を周辺自治体と広く共有するため、2016年度の改善検討に基づく改善結果や2017年度の取組状況について発表します。



基調講演 佐藤 主光

(一橋大学国際・公共政策大学院 教授)

<委員会等>

- ・経済財政一体改革推進委員会専門委員
- ・政府税制調査会委員
- ・財務省財政制度等審議会委員
- ・内閣府・民間資金等活用事業推進委員会委員

<主なプログラム>

1. 基調講演「地方行財政改革の動向と今後の展望」
(講師:一橋大学国際・公共政策大学院教授 佐藤 主光)
2. 自治体間ベンチマーキングの概要
3. 取組事例の紹介
 - ①住民税業務
 - ②介護保険業務



参加自治体による意見交換の様子

2018年2月16日(金)

14:00~16:00 (13:30開場)

TKP新宿カンファレンスセンター

カンファレンスルーム6B 定員125人

(新宿区西新宿1-14-11 Daiwa西新宿ビル6F)

主な対象 行財政改革、行政管理、介護保険、
市民税業務を所管する自治体職員



主催 自治体間ベンチマーキング事務局 (町田市政策経営部企画政策課)

電話:042-724-2103 / E-mail:seisaku010_02@city.machida.tokyo.jp

申込みの際は、メールアドレス宛に団体名・氏名・連絡先を**2月9日(金)まで**にお送りください。

なお、申し込み多数の場合は調整させていただきます。